

第 25 回地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会 欠席委員の意見

<評価についてのコメント>

○ 第 1-1-（1） 救急医療について

救急に関しては、「断らない救急」を全面に掲げて、実際にその通り実行された点を高く評価する。

○ 第 2-1-（5） 職員満足度の向上について

職員満足度調査について、看護師だけでなく、他の医療職も含めて、年に一度くらいはやるべきだと考えている。職員満足度が高い病院は患者満足度も高く、職員満足度が低い病院は患者満足度も低く、相関関係が実証されている。

○ 第 3-1-（2） 収入の確保について

収支に関しては、非常に良好である。全国自治体病院協議会の平成 25 年度収支を見ると、半数以上が赤字であり、それから比べても、驚異的な数字だ。国立病院と比べても、上位に位置する。しかも、年度ごとに上がって、毎年度数字が伸びており、その経営努力は評価する必要がある。収益が伸びた時にはしっかり評価して、伸びなかった時には評価を下げるよう強弱をつけた方が評価は分かり易い。

○ 第 3-2-（1） ガバナンスの確立による体制の整備について

独法化により、そのあり方をきめ細かく評価していくシステムによって、透明性が維持されている。神戸は、独法化の成功例として、今後どうなっていくかが、全国から注目されている。

<第 1 期中期目標期間評価についての意見>

○ 大項目評価・全体評価とも、(案) のとおりで、意見はない。